

2013年調査へのご協力をお願いいたします。

○調査のご案内

日本福祉大学健康社会研究センターでは、1999年度から高齢者ケア政策の基礎となる科学的知見を得る目的で、「老年学的評価研究」に関する継続的な調査研究を開始しました。1999年に愛知県の2市町を対象に開始された本調査研究プロジェクトは、2010/11年度調査では北海道から沖縄県における12道県31市町村で調査を実施し、11万人の方にご協力いただいけるまでになっております。各自治体における介護予防事業等の立案・評価に資する科学的な根拠を提供しています。

このたび、本研究調査プロジェクトでは、2013年の調査を実施するにあたり、新たに調査に加わっていただける自治体を募集しています。

○調査票について

調査票は、①「コア項目」②「オプション項目」③「市町村独自項目」の3つの項目群で構成されています。

「コア項目」は分析上重要で全員にお尋ねすべきと考えられるもので、すべてのバージョンの調査票に含まれます。

「オプション項目」は一部のバージョンにのみ含まれるものです。過去の調査で用いられた例としては、「認知症版」「家族・虐待版」「口腔・栄養版」などがあります。このようにバージョンを複数設ける理由は、一人の回答者に対する質問項目が膨大になることを避けつつ、いろいろな課題について検討するためです。

「市町村独自項目」は市町村側からの要望により追加される項目です。この項目は、その市町村のみに追加されます。

各バージョンの調査票をランダム（無作為）に振り分けて配布します。

JAGES調査票のイメージ

調査票のバージョン	コア項目	オプション項目	市町村独自項目
<u>Ver.A</u>	Ver.A～D 共通の項目	+ Ver.Aの項目	+ ○○市の項目 + △△町の項目
<u>Ver.B</u>		+ Ver.Bの項目	+ ○○市の項目 + △△町の項目
<u>Ver.C</u>		+ Ver.Cの項目	+ ○○市の項目 + △△町の項目
<u>Ver.D</u>		+ Ver.Dの項目	+ ○○市の項目 + △△町の項目